

## タブレット端末の入れ替えについて

### 1. 概要

教育 ICT 環境の充実を図り、教員や児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指す取り組みである GIGA スクール構想を実現するため、令和 2 年度末に整備した児童生徒用タブレット端末（480 台）について、整備から 5 年が経過することから、令年度に端末の入れ替えを実施する。

### 2. 進捗状況

整備端末 OS については、小中学校と協議の上、ChromeOS（継続）に決定。

#### 【選定理由】

- ①原則としてクラウドベース（端末の中にデータを置かない）なので、動作が安定している。端末の起動時間が短い（授業中に使いやすい）・紛失時の情報漏洩リスクが少ない。
- ②OS を変更することで慣れるまでに時間がかかり、教員の負担が増加する。OS を変更しないことで、使い慣れた環境を維持し、業務効率の低下を防ぐことができる。  
※（Microsoft Office（Word や Excel 等）との互換性が低いのが主なデメリットで、それを理由に OS 変更の希望も少数あった）

### 3. 共同調達会議

タブレット端末の調達については、県が実施する県内市町村との共同調達により行うことになっており、県の共同調達会議は Chrome 部会に参加し、共通仕様を作成。

共同調達会議が 5 月に入札を実施し、富士電機 IT ソリューション株式会社が落札。

### 4. 契約

議決案件となるため、8 月に仮契約を締結し、9 月議会で承認を受け 10 月に本契約を締結。2 月末までに各学校に納品予定。

※契約金額は金 16,884,208 円（35,696 円×430 台×1.1）

財源 公立学校情報機器整備事業費補助金（公立学校情報機器等整備事業）

- ・補助基準額：5.5 万円/台（5.5 万円を超える部分は町負担）
- ・補助率：3 分の 2（3 分の 1 は町負担）

### 5. その他

共通仕様は端末本体及び一部の付属品（MDM(※1)・タッチペン等）のみ。

その他調達が必要な画面保護フィルム・WEB フィルタリングソフト（※2）・AI ドリル

（※3）は別途入札により町単独で契約する予定。

インナーバッグは前回調達したものを継続利用する。

## 【用語】

- ※1 MDM は GIGA スクールで使用する端末を遠隔操作により一括管理するための仕組み。学習ソフトや有害サイトのフィルタリング設定等を一括登録したり、端末を紛失した際にロックするために必要。
- ※2 WEB フィルタリングソフトは公立学校情報機器等整備事業の補助要件。教育委員会で選定を行い、ソリトン DNS ガード（継続）に決定。
- ※3 AI ドリルは主に家庭学習習慣の定着を目的とした端末の利用促進案として学校から要望があったもの。ソフトの選定は4社にデモアカウントを発行してもらい、教員に体験してもらい評価が高かったミライシード（ベネッセ）に決定。